



くじ

市議会だより

第 35 号

2014 年
(平成26年)
5月1日発行



— 春、到来 —

主な内容

- 市議会を読む 3月定例会…………… 2～3
- 委員会の審査から…………… 4～5
- 一般質問・各会派の関連質問 …… 6～12
- じえじえじえな議会を目指して…………… 13
- パブリックコメント報告…………… 14

桜も咲き、
久慈市にもようやく
春が訪れました。
(写真：市民体育館前の桜)

議会基本条例を全会一致で可決

通称 “じえじえじえ基本条例”

第15回市議会3月定例会は、2月7日から3月4日までの26日間の会期で開かれました。本定例会では、山内隆文市長が施政方針を、鹿糠敏文教育委員長が教育行政方針を述べ、当初予算は予算特別委員会を設置して審査しました。また、一般質問では各会派を代表して5人が、個人で2人の議員が登壇して質問を行いました。平成26年度一般会計当初予算など34件の市長提出議案と、久慈市議会基本条例など2件の議員発議案について審議し、すべての議案を可決しました。

当初予算

平成26年度の一般会計、各特別会計及び水道事業会計の当初予算9件は、原案のとおり可決しました。

●平成26年度一般会計予算

一般会計当初予算は、歳入歳出の予算総額をそれぞれ240億4900万円とし、前年度の当初予算と比較して4.3%の減となりました。

補正予算

一般会計など10件の補正予算は、原案のとおり可決しました。

●平成25年度一般会計補正予算(第5号)

既定の予算額に、歳入歳出それぞれ19億974万8千円を追加し、総額を297億9721万3千円とするものです。

条例等

条例の制定などの議案15件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

●地域の元気臨時交付金基金条例

公共投資を円滑に実施し、地域経済の活性化などを図るための事業に要する経費の財源に充てるため、本基金を設置しようとするものです。

議員発議

●久慈市議会基本条例

議会・議員が活動するにあたっての基本原則を定めるとともに、市民に開かれた議会として、情報公開と市民参加を積極的に進めるなど、議会が目指す姿を掲げ、それを市民にお約束するものです。詳しくは13ページをご覧ください。



基本条例の制定は多くの新聞・雑誌等で取り上げられています

討論

○平成26年度久慈市一般会計予算

反対

城内仲悦議員

防災公園整備事業に絞って反対する。区域設定において、秘密主義、密室行政が行われていた点、建設場所の決定において、市長の説明責任が欠如している

反対

梶谷武由議員

いわて森のトレー生産協同組合からの債権回収問題について、これまで1円も補助金の返還が行われておらず、今後も回収できるのか疑問である

賛成

下川原光昭議員

防災公園整備事業についての問題点として、市の経費負担が増大する点。平場確保の根拠が薄れている点。住民の了解を得られないまま事業を強行しようとしている点。今後、事業費がさらにかさむ可能性がある点。以上の点から反対する。

防災公園が整備されることにより、多くの市民が安心して避難生活ができる点。中心市街地活性化事業の実施により、街なか交流の促進や回遊性が向上し、市街地の活性化に繋がる点。久慈小学校屋内体育施設の完成により、有事の際に避難所としての活用も期待できる点。以上の点から賛成する。

議案等審議結果

第15回市議会3月定例会

【当初予算】

- 平成26年度久慈市一般会計予算
- 平成26年度久慈市土地取得事業特別会計予算
- 平成26年度久慈市国民健康保険特別会計予算
- 平成26年度久慈市後期高齢者医療特別会計予算
- 平成26年度久慈市介護サービス事業特別会計予算
- 平成26年度久慈市魚市場事業特別会計予算
- 平成26年度久慈市漁業集落排水事業特別会計予算
- 平成26年度久慈市公共下水道事業特別会計予算
- 平成26年度久慈市水道事業会計予算

原案可決＝賛成多数
原案可決＝全会一致
原案可決＝賛成多数
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致

【補正予算】

- 平成25年度久慈市一般会計補正予算(第5号)
- 平成25年度久慈市土地取得事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成25年度久慈市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 平成25年度久慈市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 平成25年度久慈市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成25年度久慈市魚市場事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成25年度久慈市漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成25年度久慈市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)
- 平成25年度久慈市水道事業会計補正予算(第2号)
- 平成25年度久慈市一般会計補正予算(第6号)

原案可決＝賛成多数
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝賛成多数
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致

【条例等】

- 地域の元気臨時交付金基金条例
- 地域防災センター条例
- 歯と口腔の健康づくり条例
- へき地保育所条例の一部を改正する条例
- 市営住宅等条例の一部を改正する条例
- 地域農村センター条例の一部を改正する条例
- 社会教育委員条例の一部を改正する条例
- 小袖漁港海岸災害復旧(23災665号防潮堤)工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて
- 横沼漁港漁港施設機能強化(護岸)工事の請負変更契約の締結に関し議決を求めることについて
- 辺地に係る公共施設の総合整備計画の策定及び変更に関し議決を求めることについて
- 過疎地域とみなされる区域に係る久慈市過疎地域自立促進計画の一部変更に関し議決を求めることについて
- 岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増減及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて
- 岩手北部広域環境組合からの脱退に関し議決を求めることについて
- 市道路線の認定に関し議決を求めることについて(2件)

原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致

【議員発議】

- 久慈市議会基本条例
- 広聴広報特別委員会の設置について

原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致

3月定例会賛否一覧 ※これ以外の案件等は全会一致で可決されています。

| 議案番号 議員名 | 審議結果 | 賛 | 反 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | |
|--------------------------------|------|----|---|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|-------|------|------|------|---|
| 議案等名 | | 成 | 対 | 梶谷武由 | 下川原光昭 | 藤島文男 | 上山昭彦 | 泉川博明 | 木下祐治 | 畑中利男 | 砂川健一 | 山口健一 | 桑田鉄男 | 澤里富雄 | 中平浩志 | 小柳正人 | 堀崎松男 | 小倉建一 | 小野寺勝也 | 城内仲悦 | 下館祥二 | 中塚佳男 | 八重樫友夫 | 高屋敷英則 | 宮澤憲司 | 大沢俊光 | 濱元明宏 | |
| 平成26年度久慈市一般会計予算 | 賛成多数 | 17 | 5 | ● | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 平成26年度久慈市国民健康保険特別会計予算 | 賛成多数 | 20 | 2 | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 平成26年度久慈市後期高齢者医療特別会計予算 | 賛成多数 | 20 | 2 | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 平成25年度久慈市一般会計補正予算(第5号) | 賛成多数 | 15 | 4 | ● | ○ | 早 | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 平成25年度久慈市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) | 賛成多数 | 18 | 2 | ○ | 早 | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 平成25年度久慈市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号) | 賛成多数 | 18 | 1 | ○ | 早 | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※ ○は賛成 ●は反対 欠は欠席 早は早退 離は離席 ※ 議長(八重樫友夫)は採決に加わりません

総務

総務委員会に付託された議案6件を審査しましたので、そのうち1件について概要を紹介します。

●地域防災センター条例

災害発生時における、地域の災害対応活動の拠点とするため、地域防災センターを設置しようとするものです。

施設の名称は「久喜地区防災センター」とし、木造平屋建て、延床面積は198.74㎡となります。施設内には多目的ホール、厨房、シャワールームなどが備えられています。

〔問〕総事業費6378万円千円の内容は。

〔答〕電気設備、管設備を含めた建設主体工事費は、4966万7千円で、このほかに設計監理費、旧久喜公民館の解体費などが1411万4千円である。

そのほか、施設の管理運営、避難施設としての物資の配備計画などについての質疑、答



新たに設置された久喜地区防災センター

弁が交わされ、採決の結果、全員異議なく可決すべきものと決しました。

教育民生

教育民生委員会に付託された議案4件を審査しましたので、そのうち1件について概要を紹介します。

●岩手北部広域環境組合からの脱退に関し議決を求めることについて

平成28年3月31日をもって岩手北部広域環境組合から脱

退するため、所要の手続きをしようとするものです。

〔問〕他の構成団体の脱退議案の提出状況は。

〔答〕他の構成市町村の大多数も脱退議案を提出するため、準備をしていると伺っている。

そのほか、今後の経費負担額、住民への説明責任などについての質疑、答弁が交わされました。

採決にあたり、当該組合の解散にあたっては構成する8市町村が合意の元に解散することが本来望ましい姿であり、これまで久慈市においても、多額の経費負担があることから、責任を国や県に転嫁することなく、今回の結果を反省し、今後の教訓として生かしていくように求める。との意見を付した上で、全員異議なく可決すべきものと決しました。

産業建設

産業建設委員会に付託された議案5件を審査しましたので、そのうち1件について概要を紹介いたします。

●市営住宅等条例の一部を改正する条例

東日本大震災により住宅を滅失された世帯等の居住の確保を図るため整備を進めている「久慈湊・大崎地区災害公営住宅」及び「元木沢地区災害公営住宅」が、本年3月に完成見込みとなったことから、市営住宅として設置しようとするものです。

また、条例中で引用している「福島復興再生特別措置法」に規定する居住制限者について、法改正に伴い所要の整理をしようとするものです。

〔問〕災害公営住宅地内に予定される避難所の整備にあたって、海抜標示板を設置する考えはないか。

〔答〕災害公営住宅の入居者

に対し、入居時に海抜を含めた津波避難に係る説明に努めるとともに、海抜標示板の設置について内部協議したい。

〔問〕避難所整備の考え方は。

〔答〕災害公営住宅地内に整備予定の避難所は、有事の際、地域住民の避難施設となるもので、煮炊き・寝泊りができることを想定している。

そのほか、久慈湊・大崎地区に係る第一次避難所の考え方についての質疑、答弁が交わされ、採決の結果、全員異議なく可決すべきものと決しました。



災害公営住宅を視察する産業建設委員会

予算特別委員会

一般会計予算 240億4,900万円

～前年度比 4.3%減の骨格予算～

平成26年度 一般会計予算

予算特別

予算特別委員会（桑田鉄男委員長、議長を除く全議員で構成）に付託された平成26年度一般会計予算、土地取得事業など7件の特別会計予算及び水道事業会計予算について審査し、いずれも原案のとおり可決しました。



桑田予算特別委員長

●平成26年度一般会計予算

予算の総額は、240億4900万円であり、前年度当初予算額と比較して10億8460万円、4.3%の減額となっております。

主な質疑

〔問〕住宅用太陽光発電設備の導入促進補助金の活用件数

は。また蓄電池設置に対する補助を行う考えはないか。

〔答〕平成24年度の補助実績は54件で、平成25年度は現時点で49件である。

補助内容は、国の基準等に合わせ、蓄電池設置への補助は現在考えていない。

〔問〕ブロードバンド整備事業の内容は。

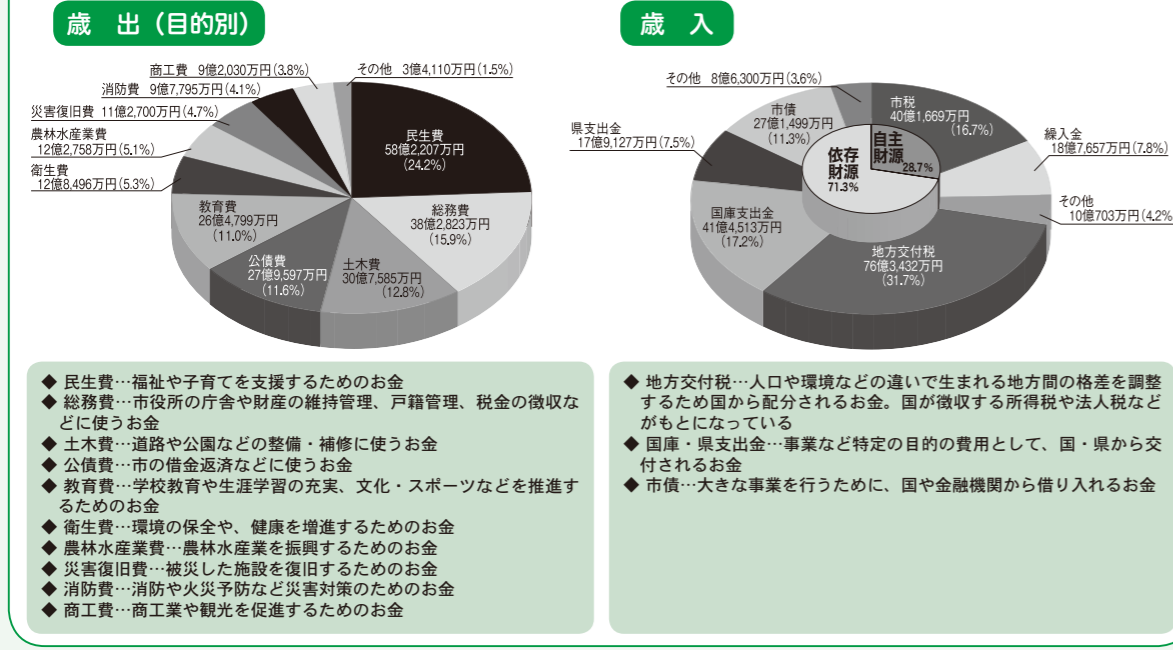
〔答〕光ブロードバンドが適用されていない、山根町、山形町、夏井町、待浜町、長内町の一部を解消するための事業で、整備費は10億6300万円ほどである。

〔問〕小規模災害見舞金制度の概要は。

〔答〕国の支援制度に該当しない小規模災害について、市独自の支援策を策定したものである。

被災者生活再建支援制度は、全壊、大規模半壊に対し支援金を支給するものである。また小規模災害見舞金制度は、半壊世帯、床上浸水世帯等に対し見舞金を支給するものである。

一般会計予算の内訳



一般質問



新政会
澤里 富雄 議員

総合防災公園の平場は芝生化が良いのでは

市長—平場を芝生化し憩いの場として整備したい

【問】総合防災公園整備事業の平場整備は、どのような構造になるのか。また、平時市民が憩いの場として利用できるよう芝生化する考えは。

【答】総合防災公園整備事業の平場として、平場8ヘクタールを4面に分けて整備し、平時は市民が憩いの広場として活用できるように、芝生化した公園として整備したい。

【答】長坂地区の未整備区間は、関係者との合意形成や用地取得の可能性を見きわめながら、整備が進むよう努める。

【問】小袖・久喜地区の下水道整備は、漁業集落排水事業で整備しているが、宇部小学校区域の整備計画は。

【答】当該地区は、農業集落排水事業での整備計画だが、受益戸数95%以上の接続同意を満たせるか調査する。

【問】減少傾向にある婦人消防協力隊の隊員確保を考え、装備品の充実や報奨金の増額等の改善策を考えるべきでは。

【答】婦人消防協力隊は、減少傾向にあるが、地域防災の一翼を担う重要な組織であり、隊員の確保を図るため装備の充実等今後支援の継続等検討する。

各会派の関連質問

一般質問は、2月18日・20日の2日間行われ、各会派を代表して、澤里富雄、大沢俊光、桑田鉄男、畑中勇吉、小野寺勝也の各議員が代表質問を、梶谷武由、山口健一の各議員が個人質問を行いました。また、各会派では関連質問を行いました。質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

新政会



◆ 上山 昭彦 議員

消防団の装備品拡充を

【問】現場で活動する消防団員の活動を今以上に安全かつ迅速にするため、新基準に合わせた装備の

一般質問



政和会
大沢 俊光 議員

北限の海女文化を市の無形文化財に指定すべきでは

教育長—これまでの調査などを参考に検討したい

【問】縄文文化由来の海女物語、歴史を刻む北限の海女素潜り漁村文化を市の無形文化財に指定すべきでは。また、小袖地域の言語文化「じえじえ」の由来と歴史は。

【答】海女の無形文化財指定については、三重県が今年1月に「鳥羽、志摩の海女による伝統的素潜り漁技術」という名称で無形民俗文化財に指定した。当市の「北限の海女」については、これまでの民俗学的調査や三重県の指定基準等を参考に検討したい。

また、「じえじえ」の由来については幾つかの説があるが、はっきりはしていない。

【問】久慈駅周辺の第2期開発による、街なか全体の賑わい創出活性化策は。

【答】第1期計画において広域観光拠点として整備した「やませ土風館」と、第2期計画で整備する駅前広場、複合施設による駅前拠点が連携し、回遊性向上に加え、商店街の取り組みを推進させ、中心市街地全体の賑わいを創出した



北限の海女素潜り漁の様子

【問】震災時に小袖、三崎、久喜等の沿岸一帯から、宇部、長内の国道45号に繋がる「命の道」や三陸復興道路へアクセスする道路網の整備計画は。

【答】館石地区から放射状に大尻、小袖、三崎、久喜地区へ道路整備を進める。

現在は、国道45号へアクセスするルートとして市道大尻川原屋敷線の整備に取り組んでいる。

【問】宇部川地区ほ場整備計画工リア外の中田、田子沢側の老朽化した農業用水路を、連動事業として導入できないか。

【答】地元組合が管理する当該用水路は国、県の補助事業を導入して整備が可能な制度は現在はない。

中沢橋拡幅工事の着手は



◆ 泉川 博明 議員

【問】工事の着手が計画より遅れていると思われるが。

【答】当初の予定より遅れているが、本年秋口までには工事に着手する予定であり、平成27年度完成を目指す。市から聞いています。市としても早期の完成に向け要望していく。

【その他の質問】さけ・ますふ化場整備／再生可能エネルギーについて ほか

一般質問



創政会
桑田 鉄男 議員

臨時福祉交付金の対象者は

市長—約9000人と見込んでいます

【問】本年4月からの消費税増税に係る、臨時福祉給付金措置の対象者数と、対象者への周知方法は。

【答】本給付金対象者は平成26年度の市民税の均等割が課税されない方が対象となるが、課税されている方に扶養されている方、及び生活保護受給者は除かれることとなり、給付金対象者数は約9000人を見込んでいます。

対象者への周知方法については、市の広報やホームページ等に加え、国が示した個別案内の例も参考にしながら、制度の周知に努めたい。

湊橋の架け替えは

【問】湊橋の架け替えに向けての進め方は。

【答】堤防のかさ上げに伴い、現在の幅員4.5mを9.5mにしよ



現在の湊橋の様子

うとするものである。

現在、橋梁等の詳細設計や用地測量等を行っており、平成26年度から用地買収や物件補償及び橋梁下部工事に着手すると県より伺っている。

【問】平成27年度に本格スタートを目指している、子ども・子育て支援制度にあわせた当市の保育料軽減策は。

【答】子ども・子育て支援制度における保育料については、平成26年度半ばに、国から公定価格や利用者負担の骨格が示される見込みであり、これらを基に新たな保育料を設定していく中で、当市におけるさらなる軽減措置についても検討していきたい。

【問】自治基本条例制定の考え方は。

【答】自治の基本的なルールとなる自治基本条例については、先行自治体の取り組み等を十分に研究しながら検討していきたい。

一般質問



清風会
畑中 勇吉 議員

速度制限の規制緩和を要望する考えは

市長—緩和要件をクリアできるか協議したい

【問】国道281号など、県道盛岡や高速道、新幹線に接続する移動時間の短縮を図るため、速度制限の規制緩和を要望する考えは。

【答】速度規制の緩和について改正が行われ、一般道路において道路構造の水準が高く安全性が確保

される場合は、時速70km以上の規制速度で走行できることになっている。

この場合、歩行者、原動機付き自転車等の通行止め規制の条件もあることから、速度規制の緩和要件をクリアできるかどうか関係機関と協議したい。

【問】東北地方の医学部新設について、市、県立病院等の医師確保、医療充実性の効果、影響についての見解は。

【答】東北地方に医学部が増えることは、卒業生が東北に残る確率が高まり、医師不足の解消につながり、将来的に医療充実の一助になるものと期待している。

一方、医学部新設により、医師教員スタッフの引き抜きによる医師不足を生じさせる懸念も指摘されており、東北市長会等を通じて

【その他の質問項目】
山形地区スクールバスの更新について / やませ土風館の太陽光発電について ほか

政和会



◆小倉 建一 議員

長内地区都市区画整理事業は

【問】長内地区都市区画整理事業は、事業中止から10年以上にわたる都市計画決定の網がかかり、道路、下水道等の整備がなされないまま土地は塩漬け状態にされてきた。今後の取り組みの考えは。

【答】まず、都市計画決定の変更をし、事業廃止に向けての手続きを進めていく。

その後、地区の意見や提案等を聞いていきたい。

一般質問



日本共産党久慈市議員
小野寺 勝也 議員

防災公園区域の変更をなぜ隠したのか

市長―昨年の7月に国に提出したが決定ではなかった

【問】防災公園の区域設定で、通称立成地区を含んでいるのではないかと昨年の12月議会で指摘したが、市長は幾度となく変わっていないと答弁してきた。

【答】国交省に照会したところ、昨年11月に市の資料を基に立成地区を含む区域設定した資料を作成しているとのことであった。国交省に立成地区を含む区域設定を提出したのはいつか。また、情報隠しではないのか。

【問】立成地区を含む方向で検討したのは事実であり、26年度予算要求で提出したのも事実である。しかし、決定ではないが、国交省に提出したのは昨年の7月である。

【問】中心市街地の活性化は駅前広場整備事業、複合施設整備事業に5年間で18億円を投資し、回遊

性を高め、賑わいを創出することで中心市街地の商店の売り上げが伸び、所得が向上することが眼目だと思うが、その目標値がないのはなぜか。

【答】商業統計が廃止となり、把握が困難で、目標値の設定ができない。

歴史民俗資料室の常設公開を

【問】児童、生徒が歴史民俗資料に間近に触れることは、現在を知り、未来を展望する上でも大切であり、常設公開するべきと思うが。

【答】資料室の常時公開の必要性は強く認識しており、そのために建築基準法の規制に適合するよう、防災設備等の整備を計画的に進めていきたい。



久慈市歴史民俗資料室（旧長内中学校）

【問】児童、生徒が歴史民俗資料に間近に触れることは、現在を知り、未来を展望する上でも大切であり、常設公開するべきと思うが。

【答】資料室の常時公開の必要性は強く認識しており、そのために建築基準法の規制に適合するよう、防災設備等の整備を計画的に進めていきたい。

【問】児童、生徒が広島・長崎で原爆や戦争の悲惨さを学ぶことは、大変意義のあることで、今後、関係部局と協議していきたい。



◆濱欠 明宏 議員

小規模災害見舞金制度運用は

【問】小規模災害見舞金制度が平成26年1月1日に施行されたが、支給要綱を改正する場合の手続きは。また、この制度に該当となる13カ月を遡って全壊、大規模半壊に認定されているものがあるか。

【答】支給要綱の改正は市長の告示行為が必要となる。また、本制度ではなく市の被災者生活再建支援金制度において、災害の発生した日から13カ月遡って、全壊、大規模半壊した世帯が対象となる。



一般質問



社会民主党
梶谷 武由 議員

市の防災公園計画と県の計画との整合性は

市長―県の計画に当市が選ばれなかったことは残念

【問】県広域防災拠点整備構想では、後方支援拠点は沿岸部と内陸部の中間エリアとなっており、また、避難所等と重複しないこととされているが、県の計画との整合性に欠けるのではないか。

【答】県広域防災拠点配置計画が公表され、二戸、葛巻、北上、遠野に後方支援拠点を配置する案となっている。今回の素案に久慈が盛り込まれたことは残念である。

避難場所との重複については、8ヘクタールの平場をつくり、避難施設や情報伝達、自衛隊等との割り振りを考えていく。

久慈川河口の閉塞状況の解消は

【問】最近、久慈川河口がふさがって久慈橋付近から下流は流れが悪



閉塞状況が懸念される久慈川下流

【問】県では、河口付近の閉塞状況をしながら、例年数回の河道掘削を行っている。市街地の被害が危惧されるので抜本的解決策を含め、適正な河川の維持管理を引き続き強く要望していきたい。

【答】県では、河口付近の閉塞状況を見ながら、例年数回の河道掘削を行っている。市街地の被害が危惧されるので抜本的解決策を含め、適正な河川の維持管理を引き続き強く要望していきたい。

創政会



◆下川原光昭 議員

新井田地区の雨水排水対策は

【問】大雨の影響による久慈川の水位上昇に伴う、新井田地区の雨水排水対策は。

【答】今後、下水道雨水排水計画に基づき、浸水被害歴や財政状況を勘案しながら、ポンプ場の整備に取り組みたい。

なお、ポンプ場が整備されるまでの間は、仮設排水ポンプにより対応していきたい。



◆下館 祥二 議員

「あまちゃん」効果について

【問】「あまちゃん」出演者との繋がりを強く持ち、イベント等に出演してもらおう考えは。



【答】20数名の出演者に特別住民票を交付し、広報紙やパンフレット、特産品を贈呈するなどして、縁を大事にしていきたいと考えている。今後可能な限りイベント等にも参加してもらえようアプローチしていく。

一般質問



公明党
山口健一 議員

自転車の交通安全対策は

市長—広報や交通安全教室等で対応する

【問】 昨年、道路交通法が改正され、自転車は車道の左側通行となった。市民にルールの周知が徹底されていないと思うが、当市の取り組みは。

【答】 自転車の安全対策については、文書回覧により周知をしている。今後は、市内の各学校で行われる交通安全教室での指導や、広報紙、防災行政無線などにより周知を徹底したい。



交通安全教室での指導

【問】 巽山公園は多くの子どもたちが利用しているため、時計の設置や駐輪場の確保が必要と思うが。

【答】 巽山公園は大型遊具等が充実しており、利用者が多い公園と認識している。公園内の時計設置及び駐輪場の確保は、今後の利用状況や必要性について調査、研究していく。

【問】 国では、昨年12月に地域防炎力充実強化法が施行され、消防団員の処遇改善、装備品や訓練の充実を図るとしているが、当市の取り組みは。

【答】 当市では消防団の強化を図るため、団員の避難ルールの設定や、救命胴衣等装備品の充実を図ってきている。今後においても、団員が安全かつ効率的に活動できるように整備を図り、教育訓練等の充実に努める。

清風会



◆小柳 正人 議員

やませ土風館の太陽光発電は

【問】 平成26年度にやませ土風館へ設置予定の、太陽光発電システムの規模と予算は。

【答】 観光交流センターに設置予定の太陽光発電システムは、15kwの太陽光発電機と、蓄電池15kwである。環境省のグリーンニューデール基金を活用し、約4000万円の費用を想定している。



◆高屋敷英則 議員

スクールバス更新の考えは

【問】 山形地区スクールバスの7台中4台が、12〜15年が経過し、融雪剤等による劣化に伴うトラブルが続出している。

【答】 平和教育という、教育だけの観点からだけではなく、市の基本的な姿勢として、市長部局と協議しながら進めていくべきと考えている。



◆城内 仲悦 議員

日本共産党久慈市議団

平和大使について

【問】 中学生を8月の広島・長崎に送ることは他自治体でも行っている。当市でも実現に向けて検討しては。

ルが続出している。事故等が心配されるため計画を前倒して更新する考えは。
【答】 スクールバス通学の安全確保には万全を期さなければならぬ。財政当局とも協議し、なるべく早い時期の更新を目指したい。

“じえじえじえ” な議会を目指して

— 久慈市議会基本条例を制定 —

久慈市議会では、3月定例会において「久慈市議会基本条例」を提案し、全会一致により可決しました。
3月4日から施行されたこの条例は、「これまでになかった発想により、まさに“じえじえ”な議会を目指していくべえ」という思いを込めて、通称「久慈市議会じえじえ条例」とされています。
この条文中には、より市民に親しみを持っていただきたいとの考えから、前文に方言を用いることや、市民との自由な意見交換の場として「かだつて会議」を設置すること、議会活動が市民の生活にどのような変化をもたらしたかを常に検証することなど、市民に開かれた議会を目指す久慈市議会の決意が数多く盛り込まれています。

議長選挙での 所信表明が きつかけ

平成23年8月の改選後の正・副議長選挙における立候補者の所信表明において、現議長の八重櫻友夫議員より、議会改革に取り組むとの表明



活発な議論が交わされる議会改革推進特別委員会

がなされました。
その後、平成23年10月に「議会改革検討委員会（桑田鉄男委員長）」が設置され、北川正恭氏（早稲田大学大学院教授）の講演を機に、①議会報告会、②議員問討議、③請願・陳情提出者の発言機会の設定の3点を改革事項として試行実施することに決定しました。
平成24年12月には、改革の検討から具体的な推進を進めるべく、議長を除く全議員23名で構成する「議会改革推進特別委員会（桑田鉄男委員長）」を設置し、その中3つの専門的な分科会を組織して、更なる改革の推進に向けた議論・研究を進めました。

じえじえじえ 条例の特徴は

久慈市議会基本条例の特徴として、議会活動が市民生活にどう影響をしたかの検証を行うことを義務づけています。具体的には、「議会活動チェックシート」を用い、情報公開・住民参加など各項目ごとに達成度、問題点などを洗い出し、今後の取り組みに

生かしていきます。

また、議員、市民、市に縁のある方などが、自由に意見・アイデアを出し合える場として「かだつて会議」を設置したことも特徴の一つです。
そのほか、市長等への反問権の付与、議員間での討議の重視、議会報告会の開催、議決事件の追加、ICT（情報通信技術）の積極的活用などを条文化しています。

久慈市議会基本条例【前文】

おら達の住む久慈市は、碧い海と緑豊かな大地に囲まれた自然いっぺえの郷土であり、このごををおら達は誇りに思っている。

久慈市民（以下「市民」という。）がら直接選ばれた議員どうで構成する久慈市議会（以下「議会」という。）はおなじように市民がら直接選ばれた久慈市長（以下「市長」という。）とともに、久慈市を代表する機関である。

この二つの代表機関は、おだげえに市民の思いに答えるために、議会は議員どうによる合議制の機関として、市長は独任制の機関として、与えられた権限のもとにおだげえの特性のいいごを生がして、市民の思いを市政にちゃんと反映させるために競い合ったり、協力し合ったりしながら、久慈市にとって一番いい意思決定を導くための共通の使命が与えられている。

おらあどう議会は、議会に与えられたこの使命を達成するために、これまでになかった発想により、まさに“じえじえじえ”な議会を目指していくべえという思いを込めて、この条例（通称「久慈市議会じえじえじえ基本条例」という。）をかきえ、市民の思いに力いっぺえあてていくごをを決意する。

パブリックコメント 報告

久慈市議会基本条例（素案）に対して24件のご意見をいただきました。皆様からのご意見の一部と市議会の考え方をお知らせします。

方言の使用は

馴染まないのでは

【ご意見】 通称「じえじえ」基本条例に方言を利用、使用するの、久慈市民には馴染まないし、他自治体の視察訪問の際に、方言条例の設立趣旨に時間を要し、本来の視察項目を説明、議論せずに終了すること大です。

方言は、その地方、地域の歴史、文化、風俗、生活を密にしていることから、小袖地区の「じえじえ」を利用することはいささか方言の地域性を懸るうし、他地区住民に説明しても納得しないと思います。「じえじえ」の方言は、小袖地区の歴史的な

活に重みのある言葉です。軽々しく肥大化させることは戒めていただきたいと思います。

他の市町村議会からも注目され、模範となるべきものでなければなりません。一時しのぎのテレビドラマを意識し、観光を目指すのとは意味が違うので、この条例には反対します。

【考え方】 本条例は、議会・議員が活動するにあたっての基本原則を定めるとともに、市民に開かれた議会として市民参加を積極的に進めるなど、議会が目指していく姿を市民と約束するものであります。

そのためには、まず市民にこの条例を手にとり読んでもらい、親しんでもらうことが大前提であります。また、このことと併せ、久慈市を全国に発信したいという想いも私たち議員の中には強くあります。このようなことから、前

文に全国でも例のない方言を取り入れ、地域性を前面に出した親しみのある、注目していただける条例を策定することといたしました。昨年、「じえじえ」が流行語大賞に選ばれたことは、私たちも大変誇りに感じております。「じえじえ」は歴史的にも生活の中でも地域住民に使われてきた重みのある言葉です。

ご指摘のように、方言の地域性を懸るうする考えはなく、むしろ、大切に使うていく覚悟の表れと思っておりますので、ご理解願います。

高齢化社会での情報公開は

【ご意見】 多くの情報公開が必要であるが、これからの高齢化社会に対応した情報公開のあり方も考える必要がある。

【考え方】 アナログ・デジタルの両手段を活用し、各世代の方々に情報が届くよう工夫に努めていきます。
協力ありがとうございました。

広聴広報特別委員会

3月定例会において、広聴広報特別委員会の設置が提案、可決されました。

この委員会では、市議会報の編集・発行を行うほか、議会報告会の開催、市議会ホームページの充実など、市議会の広聴・広報に関する事項を所管します。



写真前列右から、桑田鉄男委員、畑中勇吉副委員長、小野寺勝也委員長、梶谷武由委員、泉川博明委員、後列右から、上山昭彦委員、小柳正人委員、砂川利男委員、小倉建一委員、山口健一委員、下川原光昭委員

編集後記

広聴広報特別委員会
委員長 小野寺 勝 也

1年余をかけて調査・検討を重ねてきた「久慈市議会基本条例」が3月に制定となりました。

この条例を受けて「広聴広報特別委員会」が委員11名で発足しました。

これまでの「議会広報編集特別委員会」を廃止し、「広く市民の声を聴く」、「広くお知らせしていく」ことを主目的とするものです。

早速、「くじ市議会だより」の紙面を刷新し、興味を持ってもらい、読んでもらえるように工夫をしたつもりです。時を同じくして新市長も誕生となりました。

これまで以上に市議会に関心を寄せていただきますようお願いいたします。

